

養成医かわら版

NEWSLETTER



自己紹介

名前：榎木 孝次（かしき こうじ）

勤務先：兵庫県立丹波医療センター

診療科：内科（総合診療科）

卒後：8年目

経歴：

2017年3月 神戸大学 卒業

2018年4月～2020年3月 公立宍粟総合病院 臨床研修医

2020年4月～2023年3月 公立神崎総合病院 前期派遣

2023年4月～2024年3月 ミルネ診療所（丹波医療センター併設）後期研修

2024年4月～ 現職 後期研修～後期派遣

【これまでのキャリア】

生まれは公立神崎総合病院で、長く過ごした場所は神戸市西区になります。兵庫県立長田高等学校から神戸大学医学部に入学し卒業、卒後1年間遅らせて臨床研修を開始したため、実際の卒後は9年目ですが医師としてのキャリアは卒後8年になります。宍粟総合病院での研修では、外科のローテーション期間が半年と長く楽しかったため専門科をどうするか悩みましたが、最終的には内科を選択しました。元々学生の頃から科の好き嫌いはなく、特定の科が好きというわけでもなかったため、総合診療科を専攻することにしました。続く前期派遣では神崎総合病院に勤務となり、職場にも恵まれ色々なことを学び、地域医療活動にも力を入れて3年間を過ごしました。その中で結婚や妻の出産などが重なり、専門医取得のためのキャリアが中々進められなかったこともありましたが、後期研修からは現在の勤務先となり、総合診療専門プログラムを進めています。2人目の出産育児と重なり、たまたま併設のミルネ診療所の所長が不在ということもあって、1年間だけ診療所所長も務めさせていただくなど貴重な経験もさせていただきました。現在はプログラムを進めながら日々研鑽を積んでいるところです。



【丹波医療センターの特徴】

当院は320床の病院で、京都・大阪・神戸へ車で約1~1.5時間程度の距離にあり、都会に近い田舎「とかいなか」とも言われています。急性期入院・外来診療に加えて、緩和ケア、地域包括ケア病棟や回復期リハビリ病棟も有し、幅広い医療を提供しています。救急に関しては、年間救急車受け入れ台数が3000台を超えるほどにもなり、地域の中核病院として機能しています。内科及び特定診療科の各科において、派遣養成医が多く地域医療に貢献しています。また、敷地内に併設されたミルネ診療所では外来診療、訪問診療、健診などを行っています。その他に、訪問看護ステーションや保健福祉センター等も一体となっており、地域完結・シームレスな医療を提供し、「とかいなか」として世界水準の治療を提供することを心がけています。当院内科の特徴としては、特定の科に細分化せず、内科は1つのチームとして様々な疾患を幅広く見ています。専攻医が主に主治医として、その下に初期研修医がつき、そのトップに各専門を持った指導医がバックアップを行う「屋根瓦式」のチーム制を敷いています。他科でも養成医の先生が多く、養成医師同士で他科の間でも相談しやすい環境です。また神戸大学等から応援医師も派遣されており、specialistに相談しながら診療を行うことができ、様々な疾患・病態に対応できるマネジメント能力を養うことができます。病院からミルネ診療所への派遣という形で、診療所外来や訪問診療に携わることができるのも魅力です。その他に、学会発表や臨床研究、論文作成にも力を入れており、経験豊富な指導医の元でキャリアを磨くことができます。当直翌日の午前中帰宅、病後児も含めた院内保育の利用が可能等、職場環境や時代背景に即した働き方改革にも取り組んでいます。その他、グラム染色勉強会、介護職との意見交換会などの取り組みや、地域医療活動としては毎月1回地域住民への健康講話を行っています。内科、総合診療科に限らず、他科の養成医もそれぞれ得意なテーマで健康講話を行い、地域の健康増進に取り組んでいます。

私生活の面では、子育ての視点から見ると、自然が多く（虫取り、川遊びなど）、子供の好きな恐竜（丹波竜が有名）をテーマにした公園など、野外での遊び場がたくさんあり、個人的には、同じ養成医間でも子育てをしている先生が多く、休日にBBQをしたり、子育ての悩みを仲間と相談できる環境があり、仕事と子育てを両立する支えになっています。

【地域医療にかける思い】

つい先日、養成医師制度に関してサンテレビから取材を受けたり、兵庫県が開催する修学資金説明会で話をすることがあり、これまでの8年間や学生時代を振り返る機会がありました。自身が面接を受けた時に何を言ったかは実はもう覚えていないのですが、今は地域で必要とされている役割を少しでも担って貢献できたという思いで過ごしています。周りを見渡すと、養成医師の先輩・同期・後輩、すごいと思う人が多くて、同じようにはなれないと思う時もあるけれど、そんな自分でも必要とされている地域や人たちがいて、自分ができることを頑張ればいいんだという思いで日々過ごしています。兵庫県の地域はそれぞれにいいところがたくさんあって、行った先の地域を楽しみ、過ごした地域を好きになることが大事だと思っています。9年トータルで色んなところ、行く先々での研修を足し算して一人前になれたらと思います日々過ごしています。色んな地域で色んな人と関わり、生活を見て、そして問題に立ち向かい解決できる医者になることが目標で、そうすることで人としての深みも増すものと考えています。

最後に、地域で働く中でどうしても悩んでしまう時もあると思いますが、そんな時はふと立ち止まって、同じ養成医の仲間に相談したり、頼ったりすることが大事だと思います。私自身、地域で過ごす中で1人で抱え込んで困ったこともありましたが、振り返ると早く相談すれば良かったなと思っています。これを読んでいる人で困りごとがあるならぜひ誰かに相談して見てください。同じ志を持つ仲間同士で助け合いながら9年、あるいはその先も色々なことを乗り越えていければいいなと願っています。（これとは別に、総合診療目指す人はぜひ丹波の研修プログラムに興味を持って来ていただければと思います！！ぜひ！！）

